聴覚障害者・視覚障害者のための大学

国立大学法人
筑波技術大学

Press Release

令和 6 年 8 月 29 日
国立大学法人筑波技術大学

筑波技術大学の新学部
「共生社会創成学部」の設置について

本学は、文部科学省に、3 つ目の学部となる「共生社会創成学部」の設置を申請しておりましたところ、大学設置・学校法人審議会での審議を経て、令和 6 年 8 月 28 日、文部科学省から設置を可とする通知がありましたので、お知らせいたします。

「共生社会創成学部」においては、情報アクセシビリティに関する情報科学と障害社会学の知識と障害者を含む多様な人々の社会参加を目指す実践について学び、誰もが活躍する共生社会を創成する人材を養成してまいります。

取材等のご希望がございましたら、文末の問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

記

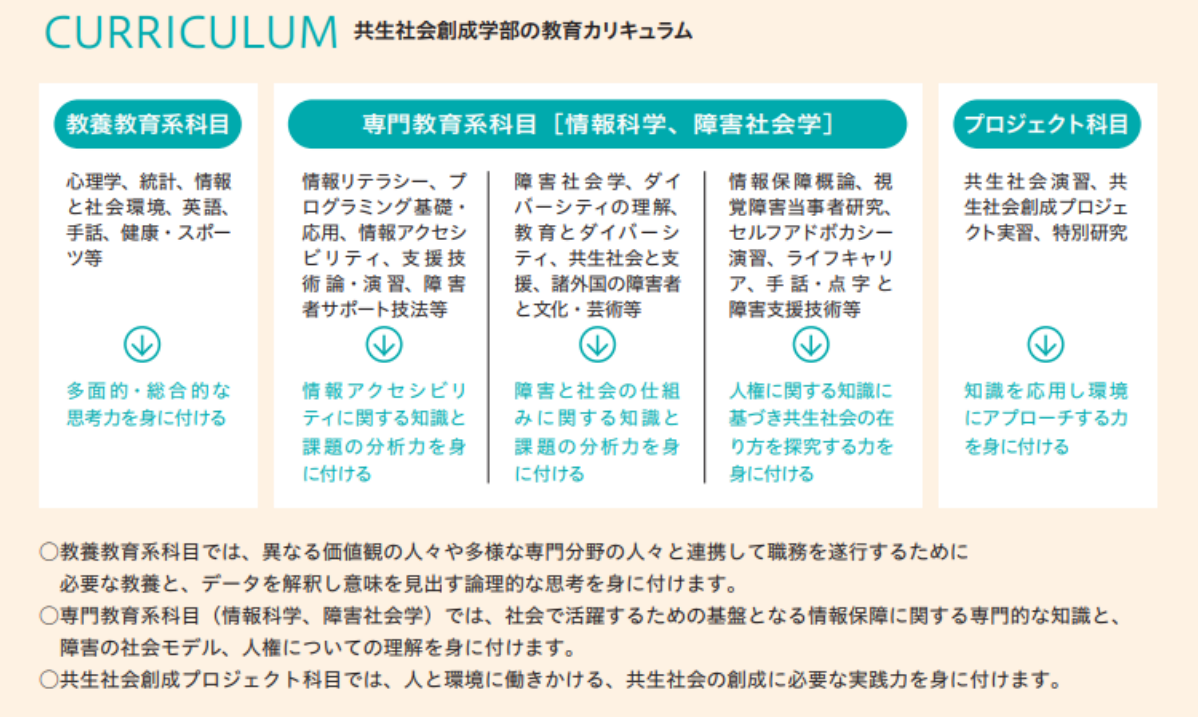
大 学 名：国立大学法人 筑波技術大学
学 部 名：共生社会創成学部
学 科 名：共生社会創成学科
コース名・入学定員：視覚障害コース 10 名、
聴覚障害コース 5 名
学　　位：学士（情報保障学）
開　　設：2025 年（令和 7 年）4 月～

進 路 例：
・官公庁・自治体の職員として、社会全体の制度改善やシステム構築に取り組む。
・企業の社員として、誰もが働きやすい職場づくりに取り組む。
・当事者団体の職員として、社会的バリアの削減に取り組む。

学生生活:

・視覚障害コースは春日キャンパス、聴覚障害コースは天久保キャンパスにて学生生活を送ります。
　両キャンパスを行き来したり、各キャンパスで他学部の学生と共同で活動を行ったりします。
・両キャンパスに学生寄宿舎があり、希望する学生のほとんどが入居可能としています。
・秋の学園祭、夏休みや春休みの国際交流等、キャンパスや国を越えた交流の機会を設けます。

教育カリキュラム:



筑波技術大学　石原保志　学長のコメント:

　共生社会創成学部は、障害者自身が社会の共生環境を整備していく、その人材を育てることを目的とした世界でも初めての学問分野の教育・研究を行う学部です。聴覚障害者・視覚障害者のための大学である筑波技術大学は、専門職業人を育成するために設立された大学ですが、開学以来、社会の状況は大きく変化しており、大卒者に対して資格や技能だけでなく、汎用的基礎能力と、自ら創造する力が求められるようになってきました。

　その社会的要請を受けて本学は、これまで教職員そして学生が培ってきた知見をもとに、マイノリティとしての障害者が、自ら社会で活躍するための環境を切り開くことができる具体的な技術を身に付けていくために、新たな学部を設置することになりました。

　この学部における教育や研究は、社会の中に存在する障害というバリアを低減すること、そしてさらにマイノリティ（障害者、LGBTQ、国籍などによる）が、本人の能力を発揮できる社会環境を整備・創造していくことに繋がっていきます。

　国立大学の中では小さな規模の筑波技術大学ですが、障害者のための我が国唯一の高等教育機関として、新たに共生社会創成学部を設置することについて、学長として達成感を感じるとともに、今後に対する大きな責任を感じています。

※その他、共生社会創成学部の詳細は、以下の URL をご覧ください。
https://www.tsukuba-tech.ac.jp/department/dei/index.html

以上

【問合せ先】
筑波技術大学広報室
TEL: 029-858-9311 FAX:029-858-9312
E-Mail：kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp